

2022

インサイドトラベル・グループ サプライ
ヤー取引行動規範



Inside Travel Group

2/5/2022

インサイドトラベル・グループ サ プライヤー取引行動規範

ITG Supplier Code of Conduct

はじめに

インサイドトラベル・グループ（インサイドジャパン・ツアーズおよびインサイドアジア・ツアーズ）は、高水準のエシカルな事業およびサステナビリティポリシーの実現に尽力しています。私たちは、私たちが大切にしている人々や場所にとって良い影響となる取り組みを、最も信頼し重要なサプライヤーである皆さまと共に行っていきたいと考えています。

こうした取り組みにより、以下のことが可能になります。

- 地域社会と関わり、観光が地域にとって前向きな力となるように支援すること。
- 近年ますます増えている、旅行先や旅行会社を選択する際にサステナビリティの問題を重要視するお客さまの期待に応えること
- 私たちおよびサプライヤーさまの競争優位性を高め、お客さまやパートナーにより魅力ある将来性を示すこと
- 倫理的に正しいことを行っている確信を持つこと、また、素晴らしい旅行を提供することと、人々のため、また地球環境のために貢献することの両立は可能であると示すこと。

私たちの主要なサプライヤーとして、皆さまはお客様の数多くの経験において必要不可欠な存在であり、私たちは今後も皆様と共に素晴らしい旅行を作り出していきたいと願っています。私たちは、お客さまに楽しい旅行を提供するだけでなく、一緒に働く人々や場所を守り、また将来にわたりそれを維持していく責任があると十分に認識しています。サプライヤー取引行動規範とは、この取り組みを忠実にを行うために私たちが定めた最低基準が記載されたものであり、また人と地球の双方に利益をもたらすため、皆さまにご協力いただきたい倫理的かつサステナブルな取り組みについてご説明するものです。

私たちは、この取引行動規範を皆さまのご協力と共に取り組みたいと考えていますが、私たち自身が取り組むべき課題もまだ数多くあることを十分認識しています。弊社のポリシーや求める基準についてご不明な点等ございましたら、詳しいご案内をさせていただきますのでどうぞお知らせください。私たちは、次のようなサステナビリティポリシーのもと、パートナーの皆さまと協働することが非常に重要であると考えています。

ITG サステナビリティポリシー (in English)

- [ITG Sustainability Policy](#) (ITG サステナビリティポリシー)
- [Climate Action Plan](#) (気候変動対策計画)
- [Animal Welfare Policy](#) (動物福祉ポリシー)
- [Modern Human Slavery Statement](#) (現代の人身売買に関する声明)
- [Child Safeguarding Policy](#) (児童保護ポリシー)
- [Volunteering Policy](#) (ボランティアポリシー)

こちらをご覧ください:

- サステナビリティに関する[弊社ホームページ](#)

下記の認証および会員証を取得しています:

- [Travelife パートナー認証](#)
- [名古屋市 SDGs 推進プラットフォーム会員](#)

インサイドトラベル・グループ サプライヤー取引行動規範

多くの価値観を共有するパートナーとして、私たちは以下のことに同意します。

法律の遵守

- 現地の雇用規制を遵守し、従業員に最低賃金以上の賃金を支払うこと。

健康・安全・衛生

- すべての地方自治体および保健当局の安全衛生規制（コロナウイルスに関する最新の地方自治体のガイドラインを含む）を遵守すること。
- 職業上の病気や事故を減らし予防するためのガイドラインと手順を用意し、それに応じた従業員向けのトレーニングを実施すること。
- 厳しい衛生基準を設けること。
- インサイドトラベル・グループのお客様に提供されるサービスが安全かつ旅の目的に適ったものであることを保証すること。
- すべての個人の安全を確保するために、緊急時対応計画を作成し、インサイドトラベル・グループ、従業員、およびお客様に必要なサポートを提供すること。

人権と労働条件

- いかなる形の強制労働および奴隷労働も使用しないこと。
- 従業員が自らの意志で働き、仕事を辞める権利があると保証すること。
- 雇用を終了させる場合は合理的な通知期間を設けるよう定めた雇用契約を各従業員と締結すること。
- 従業員に雇用の見返りとして預託金や保証金の支払いを要求せず、また雇用主がいかなる理由でも賃金の支払いを留保しないようにすること。
- 雇用の条件として従業員にパスポートまたは労働許可証の放棄を要求しないこと。

児童保護

- 18歳未満の従業員が、国内規制および国連の定める「児童の権利に関する条約」に従ってのみ雇用されるようにし、最低年齢および児童労働に関する国際労働機関の条約を遵守すること。
- 国内法により子どもが家族経営やホームステイなどの軽労働に参加することが許可されている場合は、子どもの安全、権利、自由を必ず保護した上で参加させてください。
- 観光関連の性的搾取およびあらゆる潜在的な虐待から子どもを保護するための予防措置を実施すること。

- あらゆる形の搾取、特に性的搾取や、さらには子どもや若年層に関わる搾取を許さず、警察に報告するなどの対応を取ることを。
- すべてのサプライヤーさまに、**The Code**、**ECPAT**、**ChildSafe** など子どもを守るための団体のうち少なくとも1つに加入すること、また [ChildSafe global good practice guidelines](#) (ChildSafeによる国際的実践ガイドライン) に準拠することへのご協力をお願いいたします。

サステナブルな環境

- 事業に適用されるすべての地域内、国内、および国際的な環境法を遵守すること。
- 事業により排出される廃水はすべて国の規制を満たす方法で処理されるようにすること。
- サプライヤーさまには、温室効果ガス排出量、エネルギー消費量、水、廃棄物などの分野における環境への影響を積極的に測定、管理、開示し、削減目標を設定すること、また、環境保全への取り組みを実施するための行動計画策定を推奨いたします。
- サプライヤーさまには、二酸化炭素排出量を減少しカーボンフリーな未来に繋がる新しいテクノロジーや二酸化炭素を相殺する仕組みなどへの投資や活用を推奨いたします。
- 私たちは、地域社会と共に環境問題に取り組むことが極めて重要であると考えます。
- 事業に関連する環境問題や、それに該当する取り組みについての知識を実証し、必要に応じてお客様に情報を提供すること。
- 絶滅の危機に瀕している野生動物や植物に由来するお土産品の製造、販売、および宣伝をしないこと。

コミュニティ・エンゲージメント

- 人、動物、植物に害を及ぼす活動を提供しないこと。
- 地域社会を支援する観光体験、製品、またはサービスを積極的に採用すること（例：地域で作られた商品や伝統工芸品、地元の食品の購入や、社会課題解決プロジェクトへの訪問）、地域の環境と生物多様性を守り支えること（保全プロジェクトに積極的に関与すること）、地域の文化を保護および促進すること。
- 事業を行う地域のサステナビリティに積極的に貢献すること。 サプライヤーさまには、地域社会の課題に関する進捗評価の実施を推奨いたします。

動物福祉

- 飼育下にあるかどうかにかかわらず、観光業界における最善の方法に則ってすべての動物を扱うこと。 より具体的には、サプライヤーさまにはインサイドトラベル・グループの [Animal Welfare policy](#) (弊社動物福祉ポリシー) の遵守をお願いしております。 このポリシーは、動物の福祉、生息地、自然な行動について、地域ごとの具体例も併せて言及しています。
- 日本版持続可能な観光ガイドライン（特にセクション D5「野生生物の保護」および D6「動物福祉」）に従うこと。

倫理

- 公正、合法かつ誠実な方法で事業を運営すること。
- 会社の資産の悪用、汚職、贈収賄、不適切な贈答、恐喝、横領を禁止する体制を整えること。
- すべての労働者が尊厳と敬意を持って扱われ、いかなる形の非倫理的な扱い、暴力による脅威、身体的、精神的、性的なハラスメントの対象とならないようにすること。

行動規範の周知とエンゲージメント

- この行動規範の原則が従業員、経営陣、およびステークホルダーに周知され、それぞれ適切な方法で行動規範の実施に携わるようにすること。
- サプライヤーの皆さまが関わるサプライチェーン各所に対しても、当行動規範または同様の原則の共有・促進をお願いいたします。
- 当行動規範が合理的に可能な限り遵守されるように、インサイドトラベル・グループと共に課題について話し合い、解決策を検討すること。

皆さまの取り組みをお聞かせください

他の活動と同様に、サステナビリティの取り組みにおいても皆さまとの対等なパートナーシップが非常に重要であると考えています。お客様の旅行体験にとって一番の要であり、また地域に良い影響を与える上でも重要な立場を担う皆さまと、人と地球の両方に良い影響をもたらすための、倫理的かつサステナブルな取り組みを共に行っていきたくと願っております。私たちはこれまでサステナビリティのために多くのことに取り組んでまいりましたが、一方でまだやるべきことがあると十分に認識しています。そして、私たちが最も信頼するサプライヤーの皆さまと協力することで、きっと今後も改善を重ねていけると確信しています。皆さまが実施しているサステナビリティに関するプロジェクトがありましたら、ぜひ教えてください。私たちも皆さまから学び、またサステナビリティへの関心が高まっているお客様と皆さまの取り組みを共有したいと考えています。

Thank you for joining us on this journey to work to benefit both people and the planet.

人と地球、互いに助け合うための私たちの「旅」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

取引行動規範に関するご意見やご質問がございましたら、下記担当者までお気軽に

Sophie Walker

ソフィー・ウォーカー



sophie.walker@insidetravelgroup.com

Global Sustainability Manager

Robert Moran

ロバート・モラン



robert.moran@insidetravelgroup.com

Destination Sustainability Executive
(Japan)

リソース

サステナビリティの向上のため、企業レベルで変革を行うことは困難な作業を伴うかもしれません。私たちも同様に試行錯誤を重ねてまいりましたが、まだ取り組むべきことはたくさんあると考えています。以下にこれまで私たちが参考にしてきたリソースのいくつかをご紹介しますので、お役立ていただければ幸いです。

- [日本版持続可能な観光ガイドライン](#)
- [United Nations Convention on the Rights of the Child \(児童の権利に関する条約\)](#)

- [Children's Rights and Business Principles \(子どもの権利とビジネスの原則\)](#)
- [ChildSafe Global Good Practice Guidelines \(ChildSafe によるグッドプラクティスに関するグローバルガイドライン\)](#)
- [ABTA: Global Welfare Guidance for Animals in Tourism \(観光における動物福祉に関するグローバルガイダンス\)](#)
- [AITO Carbon Emissions Toolkit \(炭素排出量に関するガイドライン\)](#)
- [AITO Plastic Reduction Toolkit \(プラスチック削減に関するガイドライン\)](#)
- **ABTA Animal Welfare Guidelines (動物福祉に関するガイドライン)** (メールでお問い合わせください)